

岐阜県立下呂温泉病院のブースへようこそ



南飛騨・東濃北部の約1500km²の診療圏を支える
地域中核病院です。地域医療のモデル病院として、
TV番組などでも紹介されました。
現在2名の研修医が活躍しています。

当院の概要

病床数：325床、（急性期病棟284床、回復期病棟41床）

診療科：内科、外科、小児科、産婦人科、整形外科

脳神経外科、眼科、耳鼻咽喉科、泌尿器科

皮膚科、麻酔科、東洋医学科、放射線科

リハビリテーション科、腎臓内科、歯科口腔外科

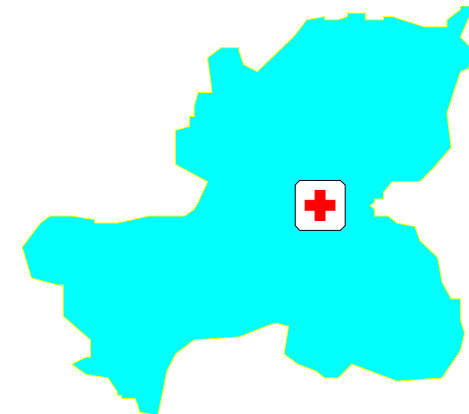
病理診断部、健康診断部

常勤医師数：25名

1日当たり平均外来患者数：356名

平成22年度の手術件数：801件

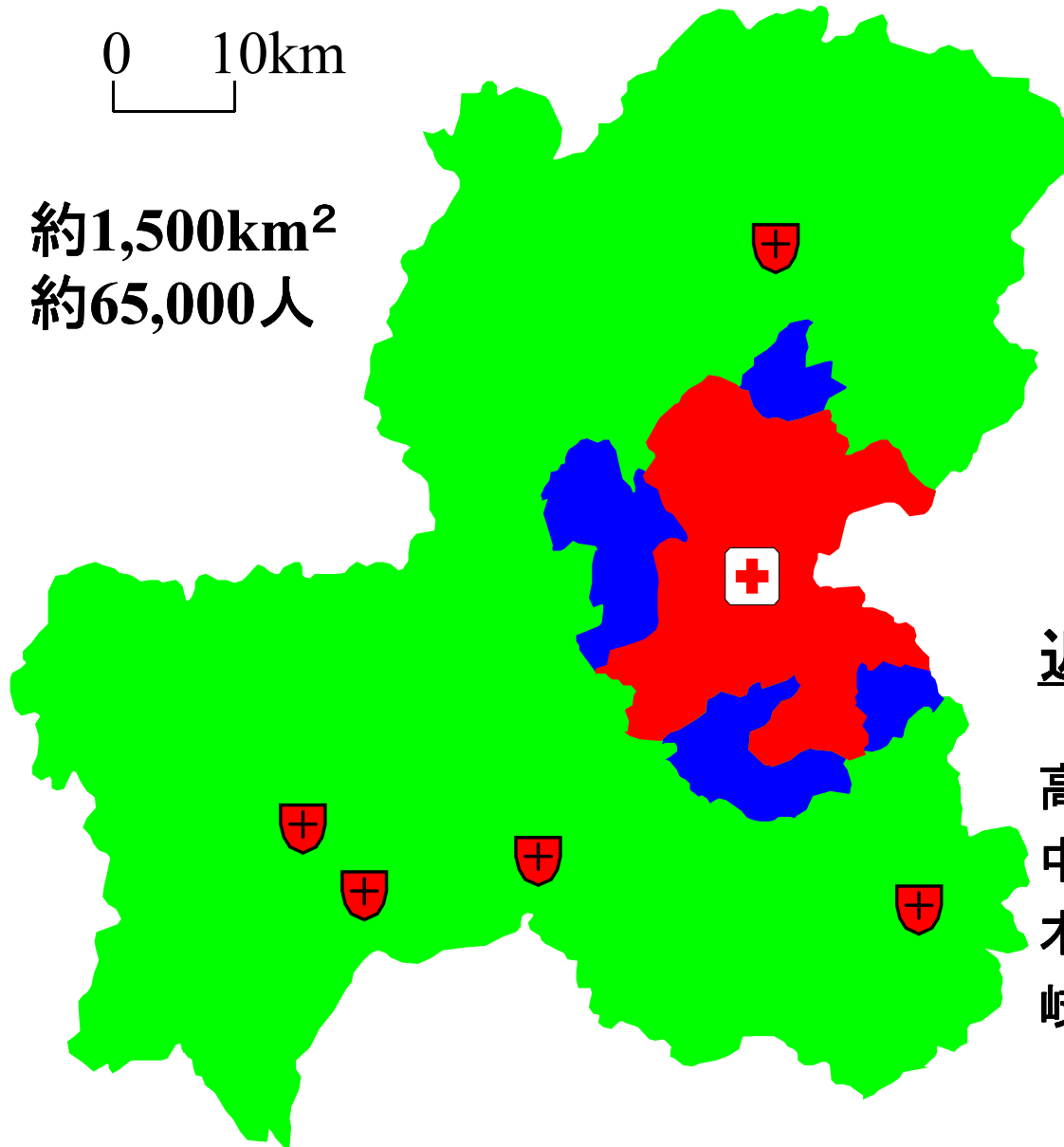
平成22年度の救急車搬送件数：1181件



当院の診療圏

0 10km

約1,500km²
約65,000人



全救急搬送圏



一部救急搬送圏
(来院患者の多い
地域を含む)



主な関連病院

近隣の総合病院までの距離

高山赤十字病院: 49km

中津川市民病院: 51km

木澤記念病院 : 68km

岐阜総合医療センター: 94km

研修の理念

「医療は地域とともにあり」をモットーに、地域に貢献できる医師の育成を目指します。病む人の心が分かる医師、そして高い医療レベルを習得し地域をリードする医師の育成をめざした研修を行います。

研修の特徴

当院の特徴は地域中核病院・へき地支援病院であることにより、地域との結びつきが強い病院です。また病床数325床を有する急性期病院でもあり、特殊な治療以外は全て行っています。研修期間において、地域医療の精神（医師としてのあり方）とプライマリーケアを中心とした医療技術を同時に学ぶことができます。

臨床研修医募集要項

募集定員	2名
研修期間	2年間
応募方法	公募（マッチングプログラム参加）
選考方法	面接、書類審査
給 与	690. 240円 賞与 2回／年
宿 舎	医師官舎（単身用／世帯用）あり
その他	包括医師賠償責任保険に病院で加入済

当院における臨床研修プログラム(モデルプラン)

1年目

内科6ヶ月	救急3ヶ月	3ヶ月
-------	-------	-----

2年目

12ヶ月

1年目に内科(6ヶ月)、救急(3ヶ月)を研修する(必須)。残りの3ヶ月及び2年目に外科、小児科、産婦人科、麻酔科、精神科のうち2つを選択する(2ヶ月)。その他の期間は希望科を選択する(既に履修済みの選択科でも可)。但し、地域医療を2年目に(1ヶ月)研修する(必須)。

定期的な勉強会

内科・外科

- ・内科外科合同の症例カンファランス
- ・胸部画像カンファランス（常勤放射線科医＋院外教授も参加）
- ・CPC（臨床病理カンファランス）（当院には病理医が常勤）

全体

- ・医師会研修会を毎月1回主催し、輪番制で各科が学術発表する。
外部より講師を招聘して、教育研修会を同時開催。
- ・下呂市消防との救急搬送症例の事後検討会
- ・各科内の定期症例カンファランスや抄読会など

研修医に対して

- ・毎週1回、臨床研修管理委員長による週間総括

当院での初期研修の特徴(1)

病院の規模が初期研修に最適。

(大きすぎない！ 家庭的な雰囲気)

👉 診療科間の垣根が低く、他科に診療が
またがる場合にも連携が取りやすい。

(科間でお互いに助け合っています。)



1人の患者を受け持っても、複数科の研修が同時に可能です。

☞ 症例が多すぎて追い込まれてしまい、結果的に個々の症例が中途半端になる心配がありません。



個々の症例に対して、じっくり取り組むことができます。

☞ 診療科が細分化されておらず、極端に専門化した研修になることはありません。



プライマリー・ケアを身につけるのに最適です。

※基本的な診療手技は2年間で十分習得可能！

当院での初期研修の特徴(2)

・地域中核病院であり、救急・急性期医療からリハビリ、予防医学、在宅療養支援までの、一貫した診療を行っています。

👉 診療圏内唯一の総合病院であるため、
救急搬送の受け入れ率がほぼ100%です。



都市部の病院にしばしば見られるような、
受け入れ患者の選別は起こりえません。
あらゆる状態の患者が無条件で搬送されます。



幅広い救急対応技術を習得できます。

☞ 患者さんの置かれた環境や地域社会を考慮した全人的医療の姿勢を身につけます。

(地域医療の基本姿勢を初期研修で修得します。)

☞ 地元医師会や救命救急士、ケアマネジャー等との連携が日常診療の間で密接に行われている。



研修医であっても、種々の勉強会や交流会を通じて、より身近に積極的に関わる事が可能です。

(病診連携の重要性・在宅療養支援を理解し、限られたマンパワーの中で、円滑なチーム医療を実践します。)

研修医と指導医が密接に関わりやすい環境がここにあります。

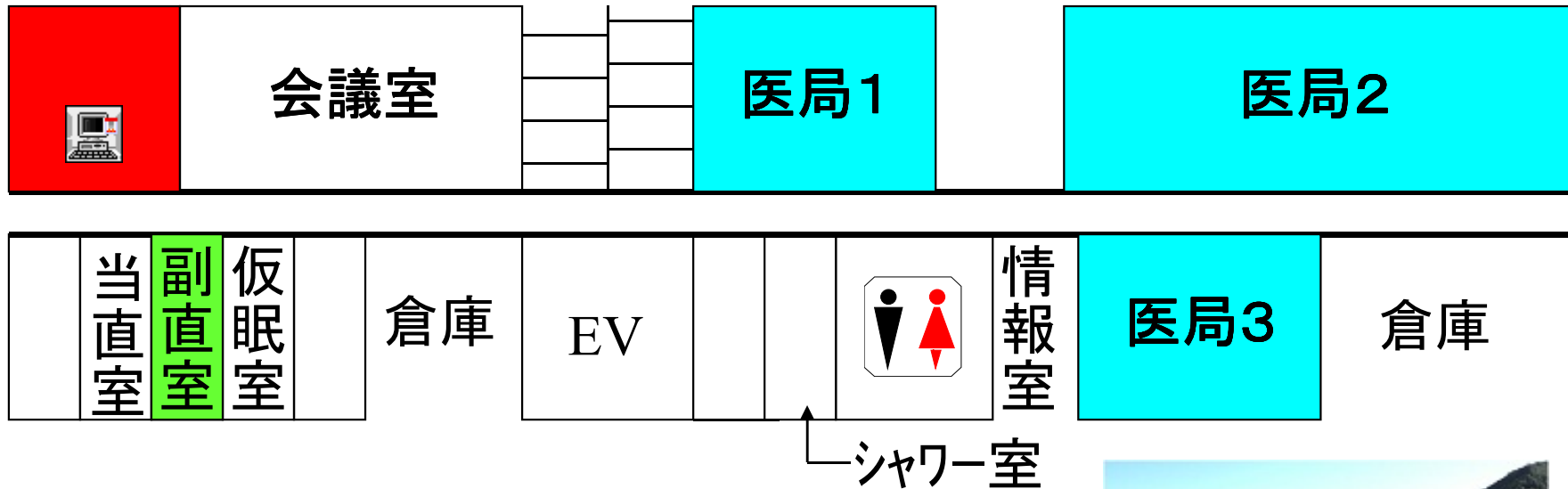
医局会やCPCはここ

本館6階

研修医室

↓ 下呂の山々や温泉街の眺めがよい。(右下)

医局は同じフロアーに全科集まっており、診療科間の垣根はありません。



研修医室は種々の医学雑誌が置いてあり、文献検索も可能です。

(インターネット接続パソコン常備)



当院の研修には、癒される環境があります。

- 研修医室からは心和む山々の景色が1年中楽しめます。
- 天下の名泉“下呂温泉”で、疲れた体を癒すことができます。(温泉付きの官舎もあります。)
- 週末には、釣りや登山・キャンプといったアウトドアがすぐ近くで楽しめます。ゴルフ場やスキー場も近くににあります。
- 田舎の人は温和でフレンドリーです。地域にはすぐ溶け込めます。

当院の地域支援事業

- ・H18. 4に院内に地域医療部が設立 **飛騨唯一の公立総合病院**
(現在、医師4人と事務官で構成)
岐阜県医療整備課(行政)と連携をとり、県内のへき地診療所への定期派遣(※)や緊急応援(医師派遣)などを行っている。
当院を基点とした僻地診療所への医師派遣体制を担っています。
- ・**専門科医師の定期派遣(月2回程度)**
東白川村国保診療所(外科、整形外科、産婦人科)
- ・**内科医師定期派遣による近隣診療所への支援(週1回)※**
下呂市立小坂診療所、高山市立久々野診療所

当院を基点とした僻地診療所等支援体制

- ☒ 支援先医療機関
- ☒ 専門研修協力医療機関
- 定期診療支援
- 臨時診療支援
- リハビリ指導支援
- 巡回診療



今後地域医療をやっていきたいという将来像を持っている方にはぴったりの研修病院です。

皆様からのご連絡をお待ちしております。

岐阜県立下呂温泉病院

〒509-2292 岐阜県下呂市幸田1162

☎ 0576-25-2820 FAX 0576-25-5922

[Http://www.gero-hp.jp/](http://www.gero-hp.jp/)

担当：医 局 吉田 実(整形外科・研修管理委員長)

事務局 岩崎利幸(総務課管理調整)